

令和2年度 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
思春期・若年成人（AYA）世代がん患者の包括的ケア提供体制の構築に関する研究
分担研究報告書

AYA世代がん患者の長期フォローアップ体制の構築に関する研究

研究分担者 前田 美穂 日本歯科大学 生命歯学部小児歯科学講座 客員教授

研究要旨 AYA世代発症がん患者の長期フォローアップ体制の構築のために、長期的な健康管理をプライマリーケア医が担当することに関してのアンケート調査を行った。AYA世代のがん医療に対して、50%以上の医師が治療終了後の健康に関する相談、がん検診やがんの予防の啓発を行うことができるとし、46%の医師は長期フォローアップ全般を行うことができると回答した。またAYA世代のがん経験者の長期フォローアップには、70%以上の医師が、がん経験者の健康管理に対するガイドラインや手引き書が必要であると回答した。さらに、がん治療を行った施設に患者及び医療者用の相談窓口を設置することや、治療内容を記載した治療サマリー・フォローアップ手帳などのツールが、AYA世代のがん経験者の長期ケアに有用であろうと回答した。

A. 研究目的

AYA世代のがん経験者の長期フォローアップ体制の構築の方法を検討するために、日常診療を主に行っているプライマリーケア医（クリニックの医師）は、がん治療を終えたAYA世代発症のがん患者のフォローアップ診療をどのように考えるか、あるいは診療の実態はどうかを知るために、アンケート調査を行った。

B. 研究方法

日本医師会に所属する内科を標榜する30歳から70歳のプライマリーケア医3,000名に回答選択式、一部自記式アンケート調査を行った。

（倫理面への配慮）

日本医師会の理事会において本調査についての審議が行われ、承認された。回答は無記名であり、回答者のプライバシーは保護され、回答者に関する情報は対象者の選定を行った部署以外への漏出はない。

C. 研究結果

525名（17.5%）から回答が得られた。回答者の背景は、がん治療医としての診療経験は61.1%にあり、61.9%でがん経験者の診療経験があった。回答者の小児・AYA世代がんの知識を知るために、まず、言葉の理解について質問したところ、「AYA」という言葉は37.2%、「晩期合併症」は41.7%、「長期フォローアップ」は64.2%、「トランジション」は27.8%が言葉も意味も知っていると回答した。

がん経験者の診療時の情報収集については、93.8%の医師が情報収集し、その内容は患者が持参した診療情報書が65.8%で、6.8%の医師は自分で電話や手紙で治療医に問い合わせをしたと回答した。がん経験者がAYA世代だった場合の負担感については、56%があると回答し、その理由として、医療者側の問題としては診療経験の不足、晩期合併症・長期フォローアップ・がんそのものへの知識不足、患者側の問題としては時

間的負担や再発・二次がんのリスク、あるいは経済的負担、患者家族の問題としては親の過保護・無視、パートナーの理解不足、子どもが小さいこと等があげられた。AYA世代のがん医療に対して、50%以上の医師が治療終了後の健康に関する相談、がん検診やがんの予防の啓発を行うことができると答え、46%の医師は、長期フォローアップ全般を行うことができると回答した。AYAがん経験者のフォローアップを行ってもよいかという質問に対しては、30.7%が「はい」と答え、41.3%が「どちらともいえない」と答えた。プライマリーケア医のAYA世代のがん経験者の診療に対するニーズとして、多くの医師がAYA世代がん経験者の健康管理に対するガイドラインや手引き書が必要であるとし、さらにがん治療を行った施設に患者及び医療者用の相談窓口を設置することや、治療内容を記載した治療サマリー・フォローアップ手帳などのツールが、AYA世代のがん経験者の長期ケアに有用であろうと回答した。

D. 考察

本研究において、回答者が全体の17.5%であったことは、新型コロナウイルス感染症の影響による受診患者の減少などクリニックの中での様々な問題があり、本来AYA世代の診療やがん診療が大切であることを理解していても、アンケート調査にすぐ協力できない事情があったのではないかと推測される。

AYA世代のがん医療に対して50%以上のプライマリーケア医が治療終了後の健康に関する相談やがん検診・がんの予防の啓発、さらに46%の医師が長期フォローアップ全

般を行うことができると回答しており、その条件としてAYA世代がん経験者の健康管理に対するガイドラインや手引き書が必要であると回答した。このことから、AYA世代がん経験者の長期的なフォローアップの方法として、ガイドラインや手引き書の作成、あるいは治療サマリーや長期フォローアップ手帳を作成し、プライマリーケア医への定期的な受診を促すなどした上で、必要に応じて治療施設や詳細な検査や治療ができる施設へ紹介するといった方法が、長期的ケアとして考えられるのではないかと思われた。

E. 結論

AYA世代のがん経験者の長期フォローアップには、AYA世代がん経験者の健康管理に対するガイドラインや手引き書の作成、がん治療を行った施設に患者及び医療者用の相談窓口の設置、治療内容を記載した治療サマリー・フォローアップ手帳などのツールの作成が有用であり、これらが整えば、プライマリーケア医がAYA世代がん経験者の長期的ケアの担い手になり得ると考えられる。

F. 健康危険情報

とくになし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. **Maeda M**, Morimoto A, Shioda Y, Asano T, Koga Y, Nakazawa Y, Kanegane H, Kudo K, Ohga S, Ishii E; Histiocytosis Study Group of the Japanese Society of Pediatric

Hematology/Oncology.

Long-term outcomes of children with extracutaneous juvenile xanthogranulomas in Japan. *Pediatr Blood Cancer*. 2020 Jul;67(7):e28381.

2. Lisanne C. Verbruggen, Yuehan Wang, Saro H. Armenian, Matthew J. Ehrhardt, Helena J.H. van der Pal, Elvira C. van Dalen, Jorrit W. van As, Edit Bardi, Katja Baust, Claire Berger, Elio Castagnola, Katie A. Devine, Judith Gebauer, Jordan Gilleland Marchak, Adam W. Glaser, Andreas H. Groll, Gabrielle M. Haeusler, Jaap den Hartogh, Riccardo Haupt, Lars Hjorth, Miho Kato, Tomáš Kepák, Maria M.W. (Rianne) Koopman, Thorsten Langer, **Miho Maeda**, Gisela Michel, Monica Muraca, Paul C. Nathan, Selina R. van den Oever, Vesna Pavasovic, Satomi Sato, Fiona Schulte, Lillian Sung, Wim Tissing, Anne Uyttebroeck, Renée L. Mulder, Claudia Kuehni, Roderick Skinner, Melissa M. Hudson, Leontien C.M. Kremer. Guidance regarding COVID-19 for survivors of childhood, adolescent and young adult cancer: A statement from the International Late Effects of Childhood Cancer Guideline Harmonization Group. *Ped Blood Cancer*, 2020 Dec;67(12): e28702. Epub 2020 Sep 23. 2020

3. Nakajima S, Sato I, Soejima T, Koh K, Kato M, Okamoto Y, Imamura T,

Maeda M, Ishida Y, Manabe A, Kamibeppu K. Comparison of child and family reports of health-related quality of life in pediatric acute lymphoblastic leukemia patients after induction therapy. *BMC Pediatr*. 2020 Aug 19;20(1):390.

4. Sato I, Soejima T, Ishida Y, **Maeda M**, Koh K, Kamibeppu K. Simple change in logistic procedure improves response rate to QOL assessment: a report from the Japan Children's Cancer Group. *Patient Rep Outcomes*. 2020 Jun 17;4(1):48.

5. Kameoka Ryo, Kawakami Tomomi, **Maeda Miho**, Hori Tsukasa, Yanagisawa Ayako, Shirase Toshinori. Dental management of a childhood cancer survivor with malformed primary teeth. *Pediatric Dental Journal*. 30: 45-50, 2020

2. 学会発表

1. 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会(LCAS)を通して得られたこと 第62回日本小児血液・がん学会シンポジウム 2020年11月

2. 前田美穂、三善陽子、清水千佳子. プライマリーケア医のAYAがん経験者の長期フォローアップ委員会委員フォローアップに関する意向とニーズ 第3回AYA研学術集会 2021年3月20日

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

とくになし

2. 実用新案登録

とくになし

3. その他

とくになし